

あわべに 淡紅だより

No. 45

2014年12月号

宝塚市議会議員

おおしまと き こ
大島淡紅子

■ 議員控室

●Tel 0797-71-1141

代表電話ですが、お気軽に！

●Fax 0797-74-1810

●E-mail
goiken@tgikai.zaqr.s.jp

■ 事務所

〒665-0816

宝塚市平井 1-6-14

●Tel & Fax
0797-89-4090

●HP
http://ayumukai.jp/
●E-mail
o-ayumukai
@poem.ocn.ne.jp

☆月～金 10:00～15:00

但し、不在のこともございますので、お電話をさせていただいてからお越しく下さい。

☆事務所のコピー機・印刷機（新機種入りしました）ご利用ください。（有料）

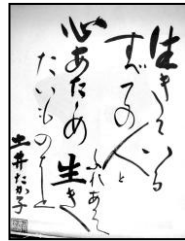
☆事務所をグループ・サークル等の活動にご利用ください。（無料）
《使用日時は電話でお問い合わせください。》

☆事務所に教育・平和・食の安全等の本があります。お気軽にご覧ください。

9月20日、土井たか

子さんが85歳で亡くなりました。私が初めて立候補した11年前、リーフレットの撮影でお会いした印象は、政界という男性社会で永年闘い、力強く演説される“凛”

とした女性。政界を引退されても、『憲法行脚の会』で全国を巡り、憲法を活かそう！という信念を貫かれました。



その日、私は奇しくも村山富市・元首相を伊丹空港で出迎えていました。村山さんは、現在も年数回は韓国や中国を訪問され、関係の修復に努めておられ、SPも断って庶民生活を送る人間味あふれる方です。



信念の言葉を吐の底から発せられます。最近一連の朝日新聞タキを、ファッショ的だと憂い、集団的自衛権に関し憲法を解釈で変えた内閣を批判。特に安倍晋三氏の『先の戦争犯罪を無かったことにする』執念には、「戦争を知るものとして、残る人生の全力を尽くし、闘う！」ことを誓われました。

60歳を前に“ひよっこ”の私、まだまだやるべきことがあります。

・介護保険事業費補正予算↓全員一致可決

・平成26年度宝塚市病院事業会計補正予算↓全員一致可決

：3階東棟を（仮）救急医療センターとして整備するため、建設改良費・企業債を約1億3千362万円増額。放射線治療装置導入の設計費用が増加したので、建設改良費・企業債を約1千776万7千円増額。看護師派遣料などの経費を増額する。市立看護専門学校から就職の就職率を上げる病院の魅力作りや認知症患者に対応する研修に力を入れるようにと質問した



・保育所保育実施条例を廃止する条例の制定↓全員一致可決

：保育の実施基準に代わる新しい基準は、市町村が定めることになった。宝塚市では独自の基準として「就学前の子ども4人以上の多子家庭」も設定。年3～4件みられた

・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定↓全員一致可決

：家庭的保育事業等の設備・運営基準を

条例で定める。各1名増員とは言え、職員配置基準は国基準に改悪される。小規模保育（0～2歳児6～19人）でのA型（現・分園に近い）・自園調理（委託可）は堅持。3歳児受け入れ困難は私立幼稚園活用で解消

・市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定↓全員一致可決

：来年度から育成会での受け入れを拡大（①市内に在住し、宝塚市立小学校以外の小学校に就学する児童 ②3年生までを4年生までに変更）。被災避難者を含め、他市に住民票があり市内小に通う児童が百人近くいることを指摘。「運用で対応」を引き出した



長尾小での第二育成会
「長尾すぎの子クラブ」の保育室



議公云報告

1 主な議案・請願・陳情の審議

・平成26年度一般会計補正予算

↓全員一致可決

：一般会計の歳入歳出予算に9億3千



6百万円を追加し、724億6千915万円円とする。自治会補助金、歌劇100年魅力発信事業のモニメント作成委託料、中央公民館整備事業での基本計画・設計業務委託料、災害復旧事業債の追加など

・平成26年度特別会計国民健康保険事業費補正予算↓全員一致可決

・火災予防条例の一部を改正する条例の制定↓全員一致可決

：屋外での人数10万人以上、露店数50店舗以上の催し（清荒神・中山寺の年末年始の祭礼が該当、今後は花火大会も）を指定催しとして、主催者に防火担当者の選任、火災予防上必要な業務に関する計画の提出・計画に基づく業務の実施を義務付ける。計画の事前提出がなければ30万円以下の罰金も

・平成25度宝塚市病院事業会計決算認定↓全員一致認定

：収益的収支は3億7千971万6千645円の赤字。当年度の純損失は3億8千36万8千101円（前年度と比べ約5千882万円改善）。累積欠損金は14億9千340万3千366円。資本的収支は18億4千636万5千136円。資金不足だが、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、水道事業からの一時借入金等で補てん。地域医療連携の成果と今後、ジェネリツク医薬品の市民への説明・啓発



・水道事業会計決算認定↓全員一致認定

：収益的収支は2億5千847万4千768円の純損失。資本的収支は3億9千43万4千13円の黒字

・下水道事業会計決算認定↓全員一致認定

：収益的収支は1億2千658万9千151円の純損失。資本的収支は18億2千35万7千734円の資金不足だが補てんし、未払

金で措置

・市立子ども館の指定管理者の指定↓全員一致可決

：第6ブロック子ども館協議会を指定。選定委員5人中3人が地元なので公平性を欠く可能性も。市民の声を聴くなら、公聴会等其他の方法でと意見した

・市立花屋敷グラウンドの指定管理者の指定↓全員一致可決

：（公財）宝塚市スポーツ振興公社を指定



当日、宝塚市立花屋敷グラウンドで永島昭浩さんによるサッカー教室

・宝塚市自治会補助金交付要綱（案）の見直しを求める請願↓全員一致趣旨採択

：紹介議員となった。（１）単位自治会への補助金交付にあたっては、市民との協働の指針に基づき、宝塚市自治会連合会への加入の有無により支給額に差を設けることなく、公正・公平に取り扱うこと。（２）単位自治会への補助金の交付条件の設定にあたっては、自治会運営

の過去の経過や現状に配慮し、当分の間、弾力的に運用すること。

この２項目に賛同できない会派もあり、発展的選択として趣旨採択に

・教育条件整備のための請願↓全員一致採択

：毎年同様の内容で同じ団体からの提出が議論となった。同様の請願を出さねばならないことが問題！

・子どもたちの健やかな成長を願う現行の保育水準の維持を求める請願↓全員一致趣旨採択

：子どもたちの成長と発達を保障し、保護者が安心して子どもをあずけられるよう、どの保育施設等も現行の保育条件および保育水準を維持して欲しい。この基準では待機児解消は不可能という意見があり、趣旨のみ採択

・いわゆる従軍慰安婦問題に関して、本市議会が平成20年3月26日付けで政府に提出した意見書が決定的な根拠を失ったことを確認するとともに、国はさらなる真相の究明を進め、諸外国、関係諸機関に、慰安婦問題についての正しい理解を促す努力をするよう求める決議↓可決

図 共産・ユニット・村上・石倉・坂下・大島

：元々意見書の審査は吉田証言を根拠にせず、女性の人権侵害が論点。また政府提出の意見書は取り消せない。その後の進展はない問題なので、対案を提案したが否決された

2 一般質問

1. ヘイトスピーチに対する市の考えは

Q 18年前人権尊重都市宣言をした宝塚市としては

A 関係課が連携協力して対応、警察等の関係機関

とも連携、容認しない基本姿勢で対応

Q 市内で行われたかという認識は

A 現在、把握していない

Q 国連勧告の「普遍的な人権教育が必要」に対して市の学校教育の取組みは

A 人権感覚を育てること、自分と共に全ての人の大切さ・違いを認めることができることを目標にしている

Q ヘイトスピーチ（HS）行為を目的とした市の施設使用の許可について市のとった行動と理由は

A 弁護士の方序良俗に反するとは言えないとの見解で許可した

HSとは「マイノリティに対する差別扇動表現」で、人種や国家だけでなく、反原発運動、広島

の平和運動、生活保護なども対象になります。HSによ

って社会に憎悪が蔓延してからでは、他民族への暴力、ジェノサイドや戦争

を阻止することが極めて困難になります。日本でも関東大震災後、民間人

により数千人の朝鮮・中国人が虐殺されました。その後日本は、侵略戦争に突



国連は教育と併せて包括的な差別禁止法をつくることも勧告しています。なぜなら、世界主要国の人権の常識と大きな差があるからです。

山形県生涯教育センターや門真市ルミエールホールは、HS行為を目的とした市の施設使用を不許可にしました。門真市は「いかなる団体であれ、人権・民族・門地などが生まれながらにして持ち、自ら選択する余地のない点や国籍などの属性を捉まえての差別行為は許されないという姿勢に立ち、多くの子どもたちも利用する文化・教育の拠点である施設として、受け入れるべきではない」と勇気ある見解を述べました。

差別の嵐が全国に吹き荒れていることを危惧し、質問しました。山谷国家公安委員長他2名の閣僚のHS団体との関係が発覚し、特に海外メディアは鋭く

東京新聞に活動が！
(10月21日)



2. 薬剤師の役割に期待する

Q市と宝塚市薬剤師会との連携は

A救急医療業務・災害時医療に
関する業務学校薬剤師業務など

Q市立病院における薬剤師の役割は



追及しています。人権を尊重しない日本が、世界から「危険」と見られていることに目をつむつていては、私たちはいつまでも井の中の蛙、成熟した民主国家に到達できません。

「ヘイトスピーチに対する早急な対策を講ずるよう」との意見書を提出した。

市長のヘイトスピーチに対する姿勢を議会でも問う動きも目立っている。札幌市議会では九月三十日、宮川議員(共産)が市独自のヘイトスピーチ規制を促した。上田文雄市長は「ヘイトスピーチは人間として誠に恥すべきこと。国の規制の動きを注視している」と答弁。宮川氏は「市長も規制に前向き。条例または宣言の形で実現させたい」と意気込む。

ヘイトスピーチが頻発した在日本コリアンタウンの新たな大規模な開発計画は、九月の議会で、川村昭義議員(共産)が区の対応を問いただした。中山弘子区長は「多文化共生の町づくりを推進する中で、ヘイトスピーチが繰り返されることは残念。法規制を含む国の対応について議論が必要」と応じた。

中川市長と大島のやり取りが紹介されました

ヘイトスピーチが頻発した在日本コリアンタウンの新たな大規模な開発計画は、九月の議会で、川村昭義議員(共産)が区の対応を問いただした。中山弘子区長は「多文化共生の町づくりを推進する中で、ヘイトスピーチが繰り返されることは残念。法規制を含む国の対応について議論が必要」と応じた。

A医師・看護師の業務支援だけでなく、患者の薬に対する安心感・安全な医療を確保する体制として外せない

2025年地域包括ケアシステムの構築を視野に入れ、質問しました。地

域・医療と介護の密接な連携で、高齢者を支援しようというものです。

薬剤師さんの役割は、「①介護予防：施設のみならず自宅も訪問↓介護の重度化防ぐ ②調剤+服薬支援 ③副作

用モニタリング ④医師への処方設計支援・処方提案：医師の意識の転換。医師は薬品の専門家でないため、過剰な処方を防ぐ提案(疑義照会)」と言う重要なもの。しかし、「かかりつけ薬局」という概念さえ市民に浸透していません。もう一つの大きな効果は医療費削減。在宅介護への方向転換で、患者を中心に据えた、かかりつけ医師・訪問看護師・薬剤師・ケアマネ・ヘルパーによる「チーム医療」は欠かせなくなります。しっかりとつなぐのが、行政の役割です。

3. 子どもの権利を尊重する施策について

Q宝塚市立中学校生徒会に



A25年以上前から年2回、全中学校生徒会執行部の交流会を開催。学校関連連携や生徒の主体性・自主性を高め、活動の活性化につながる

Q子どもの権利サポート委員会をフレミ

A子ども審議会から「アクセスしやすく、相談しやすい場所」と答申をうけた

Q子どもの環境改善におけるスクールソーシャルワーカー(SSW)の役割と今

後の展望は

A今後もSSW同士の連携強化・情報共有等、一層の拡充に努める

生徒会交流会では、東日本大震災復興支援やサミットでいじめ撲滅宣言を作成など、教員主導ではない自主的な活動を行っています。特に、いじめ防止の活動は、おとなの押し付けではなく、児童生徒が自主的に行わなくては無意味です。まさに、「自由な意見を表明する権利」「参加する権利」の具現化ですね。

思春期はガラスのハート。中高生が多く出入りするフレミラ宝塚に相談者は足を運ぶでしょうか。審議会ではフレミラと言っています。また、電話をフリーダイヤルに変えたのは正解ですが、川西市は6割が来所。相談内容で圧倒的に多い虐待事案も、学校問題も、所管課は市庁舎。もう一度、検討を要望しました。

国の調査では35人学級中6人の子どもが貧困家庭で暮らしています。貧困に精神疾患や障害などが複雑に絡んだ家庭に福祉的視点でアプローチするSSWを、国は5年後に現在の1千5百人から1万人に増員します。

また、米国やOECDの調査でも「幼児期の学びがその後の子どもの発達や人生に大きな影響を及ぼす」ことが判明。「幼児教育・保育の質の高さが、自己制御力や困っている人を助けようとする向社会的行動に影響する。子どもが成人したときの税負担の能力が高まり、生活

保護などの社会保障費も抑制できる」という説も唱えられています。SSW拡充

の際には、幼稚園・保育所でも取り組みを強化するよう要望しました。

国は学校を「子どもの貧困対策のプラットフォーム」と位置付けました。市もアンテナを高く張って欲しいものです。

4. 「宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例」制定後、活用を図るための施策は

Q「主として営利を目的に再生可能エネルギー事業を行い、地域内への還元や貢献のない事業形態も発生」に、具体的にどう対処するのか

A再生可能エネルギーは地域の共有の資源。利用の推進には①地域の受益・条件に配慮②非常時の市民の安全確保③周辺住民との合意形成に努める④市民や事業者など主体の協働促進に配慮

市内でも、豪雨の際2か所の発電所が話題となりました。原発に頼らない、再生可能エネルギー活用推進の足を引

つ張ることのないよう、しっかりとコーディネートを市に要望しました。



宝塚市地域公共交通協議会&会議が開催されました！



宝塚市地域公共交通協議会は、市の公共交通をどうしていくのかを、学識・事業者・労組・国・公安・市・住民が一堂に会し、知恵を出し合い、考え話し合う場です。総合連携計画も作成しました。

一方、宝塚市地域公共交通会議は利害調整の場。ここで、「平井山荘買い物タクシー運営事業」が審査、承認されました。一般の乗客も乗せる（乗せない）のか、路線バスとの連携を考えてはなど、審査の途中に出た幾つかの問題は、地域公共交通連携計

画を見直す時に反映出来るよう、座長のK先生が提案。また、計画当初の高齢者・障害者などの「交通弱者」限定の枠は外れ、誰もが利用できることになりました。さらに質疑を深めると、小さな事業者と大規模事業者と、それぞれの果たす役割が明確になりました。

今後、バスでもタクシーでもない、このような交通手段が、住宅が山の斜面に張り付いている宝塚で必要となるはずです。

会 苗田の早

選 水 鮎 山 杉

九月

- （多得点）浅漬けの胡瓜を添えて病床へ
 - （特選）鯛雲運動靴に風軽く
 - ◇ 虫籠を掲げる子らやしたり顔
 - 十一月 海光の会・早苗田の会 合同吟行
 - （特選）ペンギンに冬の日向のゆきわたる
 - ◇ 石路の花動物園に続く道
 - ◇ 言の葉を探す散策草は実に
- 鮎水 峯子
峯子 峯子
富田 栄子
畑 麗子
藤井 峯子



障害がある人に優しいまちは、誰にとっても暮らしやすいまちです



子ども発達支援センター。子どもの成長や身体の特性により、同じ椅子はない

議会基本条例11号にもとづき「市政に関する重要な政策及び課題に対し、議会として共通認識の醸成を図り、合意形成に資するとともに、条例案の策定や市長に対する政策提言等を行うため」研究会を設置、私は「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる宝塚づくり研究会」に所属しました。

そこでは、学識経験者などによる研修、市障害者自立支援センターや先進地明石市などの視察、市自立支援協議会の傍聴を行いました。協議の結果、下記を提言（案）します。

1. 障害施策を総合的にすすめるための体制づくり

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」をうけ、法施行

（平成28年4月）を前に、障害者施策担当課の設置・配置する専門職（障害当事者）の採用など

2. 障害者差別解消地域支援協議会の設置

身体・知的・精神・発達の各障害および難病の各当事者、専門職、事業者などで構成する

3. 障害を理由とする差別の解消の推進に関する調査実施

不当な差別的取扱いになる行為の具体例や合理的配慮として考えられる好事例。

4. 救済の仕組みづくり

相談体制の整備、助言、あっせん。

5. 条例の制定

6. 上記についての方針及びスケジュールを作成



18歳以降、長期的に関わり、リハビリや訓練をおこなう施設が近隣にありません。手足や体幹機能に障がいのある人たちの日常生活を保障する観点から、リハビリ・訓練施設の整備は喫緊の課題なので決議案を提案します。

